

研究課題名	MRエラストグラフィでの肝硬度の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 副院長 氏名 泉 並木
研究期間	平成 27年11月 ～ 平成29年3月
研究の意義・目的	本邦には年間約3万人が肝癌で死亡している。肝癌発症には肝線維化が関与しており、線維化の評価はF0～4の5段階で評価する。線維化が進行するとともに発癌率が上昇し、各々の発癌率はF1:0.5%、F2:1.5%、F3:3%、F4:7%と言われている。また肝癌発症後の再発は約30%と言われている。肝線維化評価の方法として現在は肝生検が主に施行されているが、侵襲的な処置であるため経時的に複数回施行することが困難な検査である。最近是非侵襲的な肝線維化評価の方法として、超音波が使用されているが腹水貯留や脂肪肝による値の誤差が指摘されている。本研究ではMRIと連動した加振装置を用いて肝内に弾性波を発生させ、肝弾性率を測定するMR エラストグラフィという手法にて肝硬度を測定した。非侵襲的な検査であり経時的に測定することが可能である。肝硬度と実際の肝生検の線維化評価との関係、肝硬度と採血データとの相関、肝癌局所根治後の再発予測因子となりうるかを検討する前向きと後ろ向きの両方の観察研究である。
研究の方法 (対象期間含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MRエラストグラフィの画像の3か所の肝硬度を測定し、平均値を出す。</li> <li>・MRエラストグラフィの撮影時期の直近の採血データを参考にする。</li> <li>・患者のカルテから肝疾患の詳細や肝癌発症時期、再発時期を調査する。</li> <li>・MRエラストグラフィでの肝硬度の値と採血データ、肝癌根治後再発時期の相関を検討する。</li> <li>・データはすべて匿名化し、性別と年齢、治療経過、各種データの数値のみを公開する。</li> <li>・対象期間は武蔵野赤十字病院臨床研究倫理審査委員会での承認後より調査を開始し、データが目標数（1000例）に達する時期まで継続する。（目標数）に達しない場合でも平成29年3月をもって終了とする。）</li> </ul>
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	患者のIDや名前、年齢や性別、検査データ、臨床経過は匿名化IDをつけ、研究事務局にて鍵付きで保管される。のみを公開する。学会発表、論文発表において公表する際には個人が特定できるような情報は一切公表しない。
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 樋口 麻友</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>